

シニアオリエンテーリング

あいちシニアオリエンテーリング愛好会 444-0856 愛知県岡崎市六名1丁目5-6

No.9 2024.9

岡崎の河川の昔を想像 ocad を活用して図化

オリエンテーリングマップ作製ソフト ocad を使って地形や文献などから岡崎の昔の川の流れを図化してみました。

まず、岡崎には街道のルートの変化の話があり、また河川の付け替えの歴史の話もあり、それをなにか地形から模索してみました。

まず、鎌倉時代、鎌倉と京を結ぶ鎌倉街道は岡崎城のそばを通る今の国道1号線や江戸時代の東海道よりずっと北のほうを通り、岩津に近いところで矢作川を渡っていたと聞いていました。

今の国道1号線のルートでは矢作地域に広がるいくつかに分岐したかつてのいく筋かの矢作川や湿地を超えるのは難儀であり、小高い今の愛知環状鉄道の北野榊塚駅近辺で渡渉するのは自然の姿と思われま

す。

このいくつかの矢作川をまとめて今の形に改修したのは豊臣政権下で岡崎城主を勤めた田中吉政です。

この矢作川の改修を含め、河川の付け替えはすべて、湿地を水田に変え、領主として収入増につながる事業であったと推測されます。かつてのいく筋かの流れの名残が、鹿乗川です。大昔名前は定かではありませんが、矢作川を渡るのに苦慮していたとき、鹿が渡っていくところを見て、渡渉場所を見つけたという話があります。そんな話に所以する川の名前かもしれません。

菅生川は、現在岡崎城から南西3kmのところ

流していました。

図1 今の河川



岡崎市の六ツ美地区はかつて、安城や碧南、岡崎市矢作地区とともに碧海郡と呼ばれ、おそらく海かと思われるほどの湿地が広がっていたと思われます。この

流れを現在の岡崎城がある丘とその南西にある丘(現在ショッピングセンターのあるあたり)の間の鞍部を切り開き、名鉄東岡崎駅付近からショッピングセンターのあるところを結ぶ堤防を築き流れを変えました。この工事を行った理由は岡崎市史によると湿地帯を水田に変え、米の収量を増やす狙いがあったようです。

最初にこの工事を行ったのは室町時代です。室町幕府の家臣として今も地名に残る、吉良氏や一色氏が納めていたと思われ、収入を増やしたいという意図があり、こんな大工事が行われたようです。旧菅生川の跡は今も占部川として残っており、幸田町堺で広田川と合流し、さらに西尾市内で矢作古川と合流し三河湾にそそいでいます。

名鉄本線の菅生川鉄橋の下を見ると、川の流れ方からここが極めて浅いことがわかる。この付近を掘削して川の流れを変えたことがうかがえる。

岡崎北部を流れる青木川は現在真福寺川と岩津付近で合流し、矢作川へ流れ込んでいますが、かつては合流せず、現在の国道 248 号線のほうへ流れていたのでは、と岡崎市史でも書かれている。

現在、岡崎城のすぐ西側を流れている伊賀川はかつては伊賀八幡宮付近を西に進み、日名町で早川と合流し八丁味噌会社の東を流れ菅生川へ流れていたが、大雨が降ると、菅生川の水が逆流し洪水になるため明治末期から大正にかけて、現在の流れに変えた。

この変化は当時の国土地理院の地図にもあらわされており、これにより早川の水量は大幅に減少し洪水の危険性はなくなったと思われるが、現在の早川の菅生川合流地点には逆流防止の水門が設けられている。

付け加え川の流れを変えた例として矢作川の西尾付近がある。もともと現在の矢作古川を通り、吉良方面へ流れていたのを、台地を掘削して碧南のほうへ付け替えている。国道 23 号線で矢作川を渡ってみると、川幅が岡崎市内に比べ極端に狭く、両岸に堤防がないことから、ここが掘削されたことがわかる。もともとの矢作川(古川)は西尾東部の小高い山の間を抜け

ていたため、さらに狭く、これが岡崎など上流部では運ばれた花崗岩の砂が堆積し、天井川になっていたのが江戸時代初めに流れを変える工事が行われた。それでも私が子供のころは当時の六ツ美町との境付近の田んぼでは矢作川の水が堤防の下を越して湧き出ており、「清水」と言って遊びにいった記憶がある。その後、岡崎付近では浚渫が行われ、川床が下がり、清水というものはなくなった。

図1 昔の河川の想像



(小野 盛光)

思い出のオリエンテーリング

指導者養成講習会

オリエンテーリング指導者養成講習会は当初、3級指導者も日本オリエンテーリング委員会が主催で行われた。私が3級指導者講習会は中日滋賀オリエンテーリング大会に参加するより前に受講し、資格を取得しているの、たぶん昭和48年と思われる。岐阜県高山市の国民宿舎を使って火曜日から金曜日の4泊5日で行われた。西日本ぐらいのかなり広域を対象としたものだった。愛知県からは県の教育委員会の方も参加されておりました。豊橋市の森本さんとはこの時、知り合いましたが、オリエンテーリングの腕は私より、一つ前に出ていました。講義やら屋外での実習がありましたが、最終日前夜は宴会で前列のJOLCの方々とは懇談するのはわくわく感がありました。

しばらくして3級指導者講習会のJOLC主催は終わったようで、県オリエンテーリング委員会が作成したであろう昭和50年度のオリエンテーリング行事一覧表を見ると3級指導者養成講習会は愛知県内でも土日を使った形で開催されるようになりました。

驚くことに複数の団体がそれぞれ開催しているのです。昭和50年度は4月19、20日に県労働協会主催で定光寺で1次講習会が開催されました。5月16、21、23、25日には愛知青少年協会主催で青少年公園を使って一次講習会が開催されました。5月17、18日には県教育委員会主催で蒲郡市にある県施設「相楽山荘」で開催。2次講習会は7月に名古屋市と知多で県労働協会が開催。8月30、31には県教育委員会が開催。おそらく、労働協会や青少年協会は会員の企業の社員福祉に関する部署、県教育委員会は市町村の体育関係部署を対象に行われたのではと思います。

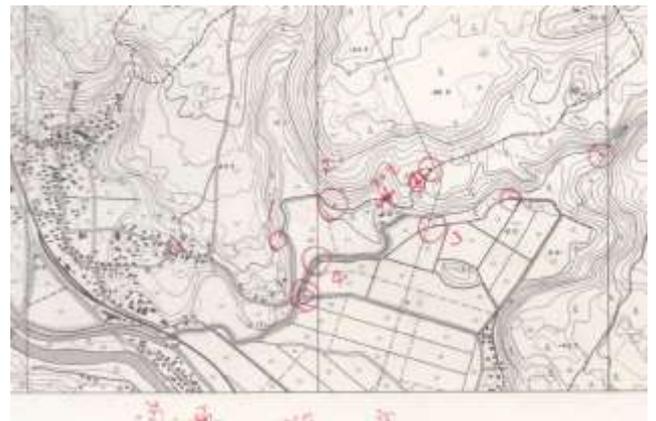
昭和50年の6月17日から20日に山形県の鳥海山ふもとの吹浦町で東日本2級(中級)の指導者

養成講習会が開催され、参加しました。愛知県からほかにだれが参加したのか記憶にありませんが、総勢70から80名の参加だったようです。講習のパターンは3級と変わりなりました。最終日前日夜は宴会が開催され、オリエンテーリング普及に氣勢をあげました。

昭和52年3月に全日本大会が栃木県黒磯で開催され、そのトレインを使って、昭和52年か53年に1級指導者講習会が開催された。相変わらず火曜日から金曜日の平日4日間で行われた。

この3つの講習会で必ず行われたのがバーンOL。ポストの場所を自分の地図に打点してくるもので、いくつかの明確な特徴物から、コンパスを使って方向を調べ、歩測で距離を測り位置を限定する。

下の図が2級講習会のバーンオリエンテーリングコースです。マスターから赤ボールペンでスタートと1番、2番、3番、4番写し取ります。2番までポイントオリエンテーリングで行き、2番からはテープ誘導があり、その道筋にポストがおかれ、1番から16番ぐらいまで番号が付いたフラッグがおかれていたのではないかと思います。



私に指定されたのが、コントロールカードにかかれた、4番・5番・12番・14番です。その場所を現地で地図に打点します。最初の4番はいったん打点しましたが、間違いに気づいたようで、×を書き、打

ち直しています。

バーン3つ目の沢の中のポストが難問でした。これを大きく外し0点、ほかの3つは1mm以内各15点、計45点、時間の得点は制限時間の90分以内に回ってきたので満点の40点。計85点で合格(合格ラインは忘れました)

名前	小野盛光 (通称)			No.	
ゴール時間	14	48	13	時間	40
スタート時間	14	40		バーン	45
所要時間	78	13		得点	85

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			4	5	12	14			

働き方の変った平成の時代ならともかく、「24時間働けますか」の時代によく4日も休みを取っていったもんだと感心している。

(小野盛光)

FDG をご存じですか？

FDG はフィールドディスクカバリーゲームの略で、地図に表示されるチェックポイントを制限時間内に回り、各地点を訪れることにより得られる得点を競うゲームです。制限時間も4時間などです。これと似たゲームをご存じの方も多と思います。

9月29日に岡崎市内で開催され、250名が参加。翌日新聞に記事が載っていましたので、実際競技している姿をたまたま見かけたのが、それだったのかと気づきました。競技の様子は特に、あのゲームと変わりませんでした。



お知らせ

【変更になる場合もあります。HP ([シニアのオリエンテーリング \(catvmics.ne.jp\)](http://catvmics.ne.jp)) でご確認ください。】

12月～1月 東三河ふるさと公園(豊川市)で大会を予定

昨年6月の大雨により一部の園路が通れなくなり、

その復活もやっとはじまったばかりです。また新しい舗装遊歩道の工事も9月末までかかるので、近々見に行こうと思っています。それでも今年終わりごろには、大会が開けそうです。